



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月9日

上場会社名 株式会社 ヨータイ
 コード番号 5357 URL <http://www.yotai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 大

(氏名) 馬場 和徳

(氏名) 江波 二郎

TEL 072-430-2100

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第3四半期 | 15,126 | 13.7 | 1,046 | 196.6 | 1,088 | 207.4 | 547 | 143.2 |
| 22年3月期第3四半期 | 13,300 | △20.1 | 352 | △63.8 | 354 | △67.0 | 225 | △48.2 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 24.41 | — |
| 22年3月期第3四半期 | 10.04 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 22,240 | 14,452 | 65.0 | 644.64 |
| 22年3月期 | 21,669 | 14,341 | 66.2 | 639.56 |

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 14,452百万円 22年3月期 14,341百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | 4.00 | — | 5.00 | 9.00 |
| 23年3月期 | — | 5.00 | — | — | — |
| 23年3月期(予想) | — | — | — | 5.00 | 10.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 20,000 | 12.4 | 1,350 | 119.4 | 1,400 | 120.4 | 750 | 58.7 | 33.45 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 25,587,421株 22年3月期 25,587,421株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 3,167,539株 22年3月期 3,163,880株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 22,422,281株 22年3月期3Q 22,424,959株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|---|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 【第3四半期連結累計期間】 | 6 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 7 |
| (4) セグメント情報 | 7 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 7 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年12月31日）における我が国経済は、経済成長を続ける中国をはじめとする新興国向けの輸出や生産に回復の動きが見られ、国内においても経済政策の効果により、個人消費や企業収益に一部持ち直しの動きが見られたものの、補助金制度の終了や急激な円高の進行により、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当社グループは、このような情勢下においても活発な受注活動を展開した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は151億26百万円となり、前年同期に比べ18億26百万円の増収となりました。

損益面におきましては、コストの削減に努めた結果、営業利益は10億46百万円と前年同期に比べ6億93百万円増加し、経常利益は10億88百万円と前年同期に比べ7億34百万円の増加となりました。

四半期純利益につきましては、5億47百万円と前年同期に比べ3億22百万円の増加となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（耐火物等）

耐火物等事業につきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は126億54百万円、セグメント利益は16億78百万円となりました。

（エンジニアリング）

エンジニアリング事業につきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は24億72百万円、セグメント利益は3億49百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、222億40百万円であり、前連結会計年度末に比べ5億71百万円増加しました。これは主として、現金及び預金の減少5億85百万円、投資有価証券の減少3億14百万円があるものの、受取手形及び売掛金の増加14億66百万円、原材料及び貯蔵品の増加2億10百万円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、77億87百万円であり、前連結会計年度末に比べ4億59百万円増加しました。これは主として、短期借入金の増加9億50百万円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、144億52百万円であり、前連結会計年度末に比べ1億11百万円増加しました。これは主として、その他有価証券評価差額金の減少1億44百万円があるものの、利益剰余金の増加3億23百万円等によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は65.0%となり、財政状態は概ね良好であると判断しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績は、売上高並びに営業利益、経常利益、当期純利益の各段階で予定を上回る進捗で推移し、平成23年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年2月9日に業績予想の修正を公表しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

記載すべき重要な事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,265,918 | 1,851,628 |
| 受取手形及び売掛金 | 9,235,314 | 7,769,057 |
| 有価証券 | 9,889 | — |
| 製品 | 2,428,539 | 2,278,124 |
| 仕掛品 | 386,714 | 370,759 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,821,079 | 1,610,135 |
| その他 | 226,894 | 315,117 |
| 貸倒引当金 | △1,800 | △1,800 |
| 流動資産合計 | 15,372,550 | 14,193,021 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 4,670,260 | 4,937,874 |
| 無形固定資産 | 58,431 | 65,854 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,001,045 | 2,315,897 |
| その他 | 246,816 | 245,332 |
| 貸倒引当金 | △108,750 | △88,787 |
| 投資その他の資産合計 | 2,139,111 | 2,472,442 |
| 固定資産合計 | 6,867,803 | 7,476,171 |
| 資産合計 | 22,240,353 | 21,669,193 |

（単位：千円）

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,446,319 | 2,525,131 |
| 短期借入金 | 1,900,000 | 950,000 |
| 未払法人税等 | 185,074 | 231,202 |
| 賞与引当金 | 141,040 | — |
| 役員賞与引当金 | 16,740 | 20,100 |
| その他 | 1,002,362 | 1,399,415 |
| 流動負債合計 | 5,691,536 | 5,125,849 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 600,000 | 600,000 |
| 退職給付引当金 | 1,108,803 | 1,089,022 |
| その他 | 387,266 | 513,104 |
| 固定負債合計 | 2,096,070 | 2,202,126 |
| 負債合計 | 7,787,606 | 7,327,975 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,654,519 | 2,654,519 |
| 資本剰余金 | 1,750,465 | 1,750,465 |
| 利益剰余金 | 10,206,840 | 9,883,712 |
| 自己株式 | △556,531 | △555,495 |
| 株主資本合計 | 14,055,294 | 13,733,203 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 406,914 | 550,931 |
| 為替換算調整勘定 | △9,462 | 57,083 |
| 評価・換算差額等合計 | 397,451 | 608,014 |
| 純資産合計 | 14,452,746 | 14,341,217 |
| 負債純資産合計 | 22,240,353 | 21,669,193 |

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 13,300,727 | 15,126,818 |
| 売上原価 | 11,592,817 | 12,504,434 |
| 売上総利益 | 1,707,910 | 2,622,384 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,355,209 | 1,576,125 |
| 営業利益 | 352,700 | 1,046,259 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4,364 | 5,524 |
| 受取配当金 | 32,537 | 40,571 |
| 不動産賃貸料 | 24,111 | 21,203 |
| その他 | 17,944 | 15,509 |
| 営業外収益合計 | 78,958 | 82,809 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 16,971 | 13,104 |
| デリバティブ評価損 | 37,477 | 15,801 |
| 為替差損 | 20,962 | 7,061 |
| その他 | 2,116 | 4,535 |
| 営業外費用合計 | 77,528 | 40,502 |
| 経常利益 | 354,130 | 1,088,566 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 13,898 | — |
| 固定資産売却益 | — | 129 |
| デリバティブ解約益 | 24,943 | — |
| 特別利益合計 | 38,842 | 129 |
| 特別損失 | | |
| 貸倒引当金繰入額 | 400 | — |
| 固定資産除却損 | 1,184 | 7,692 |
| ゴルフ会員権評価損 | 400 | — |
| 投資有価証券売却損 | — | 400 |
| 投資有価証券評価損 | — | 129,185 |
| 環境対策費 | — | 39,860 |
| 特別損失合計 | 1,984 | 177,137 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 390,988 | 911,558 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 63,000 | 317,000 |
| 法人税等調整額 | 102,922 | 47,202 |
| 法人税等合計 | 165,922 | 364,202 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | — | 547,356 |
| 少数株主利益 | — | — |
| 四半期純利益 | 225,066 | 547,356 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、耐火物事業、エンジニアリング事業を基本にして組織が構成されており、各事業単位で国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は「耐火物等」及び「エンジニアリング」の2つを報告セグメントとしております。

「耐火物等」は、鉄鋼用、非鉄金属用、セメント用、ガラス用、その他窯業用及び環境装置関係炉用を主とした、塩基性れんが、高アルミナ質れんが、粘土質れんが、珪石れんが等の各材質による耐火れんが及び不定形耐火物等を製造販売しております。「エンジニアリング」は、耐火物を使用する各種工業用窯炉、環境設備等の設計、施工を行っており、必要に応じてメンテナンス工事等を請け負っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | |
|-----------------------|------------|-----------|------------|
| | 耐火物等 | エンジニアリング | 合計 |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 12,654,734 | 2,472,083 | 15,126,818 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 12,654,734 | 2,472,083 | 15,126,818 |
| セグメント利益 | 1,678,563 | 349,367 | 2,027,930 |

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：千円）

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 2,027,930 |
| セグメント間取引消去 | — |
| 全社費用(注) | △981,670 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,046,259 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。